

立体感のある映像表現を実現

60V型 曲面液晶パネルを搭載したデジタルサイネージの実証実験をJR大阪駅で開始

シャープは、株式会社JR西日本コミュニケーションズ(本社：大阪府大阪市、社長：坂田 英洋)と共同で、60V型の曲面液晶パネルを搭載したデジタルサイネージ用ディスプレイの試作機2台をJR大阪駅の中央コンコースに設置し、本日3月7日より実証実験を開始します。

本ディスプレイには、堺ディスプレイプロダクト株式会社(本社：大阪府堺市、社長：桶谷 大玄)が開発した半円筒形状^{※1}の曲面液晶パネルを搭載しています。曲率半径^{※2}500mmと大きく前面にカーブさせることにより、立体感溢れる映像表示が可能となりました。

今後、曲面液晶パネルの特性を活かしたデジタルサイネージが実用化されると、駅や空港などの交通機関や商業施設などの公共空間において、円柱(円筒形の柱)と調和した設置が可能となり、美観を保ちながら、より豊かな表現力を発揮できます。

本実証実験を通じ、広告媒体としての効果や曲面表示に適した映像コンテンツ、技術的課題などを検証してまいります。

■ 実証実験の概要

設 置 物	60V型 曲面液晶パネル搭載 デジタルサイネージ用ディスプレイ
設 置 場 所	JR西日本 大阪駅 中央コンコース
設 置 台 数	2台
実 証 実 験 期 間	2016年3月7日(月)より約半年間
表 示 コ ン テ ン ツ	広告などの映像コンテンツ



※1 表示範囲は約150度。
※2 曲線の曲がり具合を示す指標。

【お問い合わせ先】

お 客 様 : ビジネスソリューションカンパニー
国内マーケティング統轄部 マーケティング企画部 (0120) 015-885